

シティマルチ室内ユニット リモコンからの機能選択設定説明書

適用機種

室内ユニット	室外ユニット	リモコン
シティマルチ室内ユニット 形名副番G9以降	シティマルチ室外ユニット 形名副番G3以降※	MAスマートリモコン PAR-32MA以降
(例) PLFY-P22LMG9 ↑副番	(例) PUHY-P28ODMG3 ↑副番	MEリモコン PAR-F30ME以降

※PUSYシリーズの場合、サービス時に制約事項がありますので、設定方法の注4を参照ください。

機能概要

- ・ 選択可能な機能については次頁を参照ください。

設定方法

■機能のタイプ

機能のタイプにより、設定方法が異なります。

	機能のタイプ	次頁↓部表記	設定方法
(a)	リモコンによる機能選択と、制御基板のスイッチ設定が可能なもの	「0」印	初めに機能設定No.32の機能設定値を[2]に設定します。機能設定値を[1]にするとスイッチ設定の選択が有効となります。
(b)	リモコンによる機能選択のみが可能なもの	「-」印	機能設定No.32の設定は不要です。
(c)	制御基板のスイッチ設定のみが可能なもの	項目記載なし	サービスハンドブック、据付説明書を参照ください。

機能を複数設定され、上表(a)が一つでも含まれる場合は、No.32の設定をしてください。

■設定方法

詳細手順は各リモコンの取扱説明書を参照してください。

No.	設定方法	MAリモコンの表示例
①	サービスメニューにて、「設定」→「機能選択」（MEリモコンの場合は「室内ユニット機能設定」）を選択します。	<div style="text-align: center;">機能選択</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ▶M-NETアドレス 3 機能設定No 32 機能設定値 2 実行内容選択 設定/確認 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;">実行:決定ボタン</div> <div style="text-align: center;">▼カーソル▲ -アドレス+</div>
②	機能選択画面にて、設定対象の室内機のM-NETアドレスを指定します。	
③	「機能設定No」を「32」、その「機能設定値」に対して「2」を選択し、「設定」を選択します。（出荷時設定：機能設定No.32の機能設定値は「1」）	
④	決定ボタンを押します。	
⑤	同様の③、④の手順で、設定変更する機能に対応する「機能設定No」「機能設定値」を選択し、設定します。	

注1. 上表(a)の機能タイプに対して、リモコンから機能設定した後、制御基板のスイッチ設定にて設定を行う場合は、機能選択No.32の値を「2」→「1」に変更する必要があります。その時、リモコンから機能設定した他の項目についても、制御基板のスイッチ設定値に変更されます。

※「1」→「2」への変更時は、その時点の制御基板のスイッチの状態を設定されます。

注2. リモコンによる機能設定の機能設定No.32の値が「2」の場合は、実際の設定値と制御基板のスイッチ設定状態は異なります。

注3. 設定値を確認する場合は、⑤の手順で「確認」を選択し、決定してください。

注4. PUSYシリーズとの接続の場合、室内ユニットの基板交換時に交換前基板で設定変更した項目の再設定を行ってください。その他の室外ユニットは、機能設定バックアップ機能により、交換前の設定内容を記憶していますので、再設定不要です。

■設定値の初期化方法

機能項目別初期化	上記設定手順に従い、初期化対象の室内機のアドレス、機能設定Noを選択し、「機能設定値」を「15」に設定します。
全項目初期化	上記設定手順に従い、初期化対象の室内機のアドレスを選択し、「機能設定No」を「255」、「機能設定値」を「1」に設定します。すると、全ての項目に対して設定値を初期化します。

※機能タイプ(a)の場合は、制御基板のスイッチ設定値が初期値として使用されます。

